令和８年 11 月 19 日

報 道 機 関 各 位

青森県こども家庭部県民活躍推進課

「令和８年度前向きに生きる力を育むふれあいミーティング」の開催について
（大間町立大間中学校／五戸町立川内中学校）

県では、仲間や地域住民との対話を通じて、自己や他者を肯定的に受容する心を醸成するとともに、地域全体でこどもたちを見守る環境づくりを進めています。

この事業の一環として、こどもたちが未来に向かって前向きに生きる力を育むことを目的に「前向きに生きる力を育むふれあいミーティング」を県内の中学校及び高等学校（全６校）で実施することとしています。

このうち、大間町立大間中学校及び五戸町立川内中学校では、下記のとおり実施することになりましたので、お知らせします。

つきましては、県の取組を広く県民に周知したいので、取材について、御協力を賜りますようお願いいたします。

記

１　実施概要

実施校	実施日時	実施場所	参加者	特別講師
大間町立 大間中学校	令和８年 11月26日(木) 13:10～14:25	大間町立 大間中学校体育館	３学年生徒31名 地域住民６名 青森大学学生20名 （予定）	船木　昭夫　氏 (青森大学薬学部教授)
五戸町立 川内中学校	令和８年 11月30日(月) 14:10～15:25	五戸町立 川内中学校講堂	全校生徒64名 地域住民12名 弘前大学学生10名 （予定）	平間　恵美　氏 (特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 代表理事／青森県教育委員会教育委員)

２　内　　容

中学生、地域住民及び大学生で１グループ８人程度のグループを作り、「命の大切さ」や「思いやり」について一緒に考えるワークショップを行う。

３　そ の 他

参考資料　令和８年度前向きに生きる力を育むふれあいミーティングについて

報道機関用提供資料		
担 当 課 担 当 者	こども家庭部 県民活躍推進課 青少年グループ　GM　櫻庭　知美	
電話番号	直　通	０１７－７３４－９２２６
	内　線	４３７２
報 道 監	こども家庭部　次長　　大山　和也	

令和８年度　前向きに生きる力を育むふれあいミーティングについて

1　目的

ふれあいミーティングの実施により、仲間や地域住民との対話を通じて、自己や他者を肯定的に受容する心を醸成するとともに、地域全体でこどもを見守る環境づくりを進め、こどもたちが未来に向かって前向きに生きる力を育む。

2　主催

青森県

3　テーマ

「思いやり」、「生命の大切さ」

4　実施校及び実施日時

（1）高等学校

地区	学　校　名	日　時
東青	青森県立青森商業高等学校	11月12日（木）13：35～15：25
中南	青森県立黒石高等学校	10月28日（水）13：40～14：55
西北	青森県立鰺ヶ沢高等学校	９月17日（木）13：30～14：45

（2）中学校

地区	学　校　名	日　時
上北	三沢市立第五中学校	７月３日（金）13：15～14：30
下北	大間町立大間中学校	11月26日（木）13：10～14：25
三八	五戸町立川内中学校	11月30日（月）14：10～15：25

5　コーディネーター

坂本　　徹　氏　（特定非営利活動法人　日本人財発掘育成協会　理事長）
平間　恵美　氏　（特定非営利活動法人　はちのへ未来ネット　代表理事）
（青森県教育委員会　教育委員）
船木　昭夫　氏　（青森大学薬学部　教授）
渡部　靖之　氏　（青森県総合社会教育センター指定管理者
学び・生かすあおもりグループ　事務局長）
間山　浩樹　　（青森県こども家庭部県民活躍推進課　主幹）

6　特別講師

中島　美華　氏（フリーリポーター）

7　実施方法

円形小グループのワークショップ形式

生徒に地域住民及び大学生を加えた８人程度のグループをつくり、ワークショップを行う。グループ内でテーマについて一緒に考え、意見を伝え合う。当日の進行はコーディネーター又は特別講師が行う。また、グループのファシリテーターは大学生が行う。

【進行イメージ（７５分間を想定）】

①　開会（１分）
②　アイスブレイク（９分）
③　ワークショップ（５０分）（「思いやり」又は「命の大切さ」のワークショップ）
④　アンケート記入（１０分）
⑤　閉会（５分）

全体７５分